

令和8年度

沖縄県平和祈念資料館利用案内説明資料  
(学校向け)



## 沖縄県平和祈念資料館 設立理念

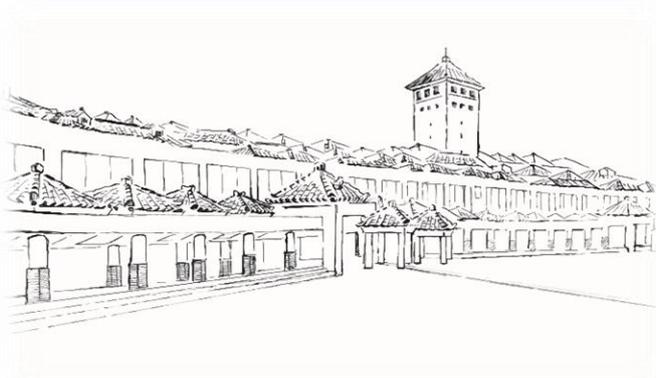
1945年3月末、史上まれにみる激烈な戦火がこの島々に襲ってきました。90日におよぶ鉄の暴風は島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊し、20数万の尊い人命を奪い去りました。沖縄戦は日本に於ける唯一の県民を総動員した地上戦であり、アジア・太平洋戦争で最大規模の戦闘でありました。

沖縄戦の何よりの特徴は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっていることにあり、その数は10数万におよびました。ある者は砲弾で吹き飛ばされ、ある者は追いつめられて自ら命を断たされ、ある者は飢えとマラリアで倒れ、また、敗走する自国軍隊の犠牲にされる者もありました。私たち沖縄県民は、想像を絶する極限状況の中で戦争の不条理と残酷さを身をもって体験しました。

この戦争の体験こそ、とりもなおさず戦後沖縄の人々が米国の軍事支配の重圧に抗しつつ、つちかってきた沖縄のこころの原点であります。

“沖縄のこころ”とは人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心であります。私たちは戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちの心を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、ここに県民個々の戦争体験を結集して、沖縄県平和祈念資料館を設立いたします。

1975年(2000年4月1日一部修正) 沖縄県



# 目 次

## 【設立理念】

1.	「利用案内説明会（学校向け）」実施要項	.....	1
2.	沖縄県の平和行政と平和祈念資料館概要、 主な事業、平和祈念公園等について	.....	4
3.	県内学校向けの平和学習支援について	.....	9
	Ⅰ 常設展示室観覧・平和講話		
	Ⅱ 資料の貸出について		
	Ⅲ 学習サポートについて		
	Ⅳ 資料館見学にあたっての注意事項		
4.	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">参考資料①</span> 貸出資料利用状況報告一覧	.....	17
5.	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">参考資料③</span> 展示室概要(常設展示室及び 子ども・プロセス展示室)	.....	21
6.	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">参考資料④</span> 沖縄戦や平和祈念資料館を 知るための参考資料	.....	23
7.	祈念ホール及び大会議室座席配置図	.....	28
8.	沖縄戦学習動画「礎が紡ぐ沖縄戦の記憶」	.....	29
9.	【協力願い】児童・生徒の平和メッセージ 〔図画・作文・詩〕作品募集要項	.....	30

## 【展示おすびのことば】

沖平第719号  
令和8年3月17日

県内各学校長 殿

沖縄県平和祈念資料館  
館長 大城 友恵  
(公印省略)

### 沖縄県平和祈念資料館利用案内説明資料の御案内

早春の候、貴職におかれましてはますます御盛栄のこととお喜び申し上げます。

平素より沖縄県平和祈念資料館の事業に御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。

さて、当資料館をより効果的に活用して頂くために当館HPに「沖縄県平和祈念資料館利用案内説明資料」を掲載いたします。

令和8年度より学校の教職員に広く説明資料をご活用いただくため、これまで行っていた多忙な時期の参加申込を省き、当館HPに「オンデマンド説明動画URL」及び「説明資料PDF」を掲載します。学校現場での平和教育充実の為、平和教育担当教諭及び関係者へ周知いただけますようお願いいたします。

なお、当館会議室での対面による説明会につきましては前年度の参加状況を鑑み、開催しません。

### 記

- 1 掲載期間 令和8年4月1日(水)～令和8年5月15日(金)
- 2 掲載物 ①沖縄県平和祈念資料館利用案内説明資料(PDF)  
②オンデマンド説明動画URL(動画ダウンロード禁止)約15分  
沖縄県平和祈念資料館HP <https://www.peace-museum.okinawa.jp/>
- 3 内容
  - (1) 沖縄県平和祈念資料館について  
(設立理念、各展示室、子どもプロセス展示室、情報ライブラリーの紹介等)
  - (2) 事業紹介(児童・生徒の平和メッセージ展等)
  - (3) 教育機関との連携事業
    - ① 県内学校向け平和講話
    - ② 平和学習キット、証言映像貸出等
    - ③ 資料の貸し出し状況
    - ④ 常設展示室について
    - ⑤ 沖縄戦学習動画「礎が紡ぐ沖縄戦の記憶」
- 4 第36回「児童・生徒の平和メッセージ」について  
3月中旬には第36回「児童・生徒の平和メッセージ」募集要項等を県内各学校に送付しています。また、4月上旬より当館HPからも学校送付済資料をダウンロード可能です。ご確認ください。

沖縄県平和祈念資料館 担当：学芸班 担当者 〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁614-1  
TEL：098-997-3844/FAX：098-997-3947/Email：webmaster@peace-museum.okinawa.jp

# 沖縄県の平和行政と平和祈念資料館概要、平和祈念公園について

## I 沖縄県の主な平和行政（3本柱）

平和の礎　　沖縄県平和祈念資料館　　沖縄平和賞

## II 「平和の礎」概要 平成7（1995）年除幕式

- (1) 総事業費　　18億1千9百万円
- (2) 刻銘者総数　242,567名（令和7年6月現在）
- (3) 刻銘対象

国籍を問わず、沖縄戦で亡くなったすべての人々とする。この場合、沖縄戦の期間は、米軍が慶良間諸島に上陸した1945年3月26日から降伏文書に調印した同年9月7日までとし、戦没場所は沖縄県の区域内とする。ただし、次に掲げる戦没者についても刻銘対象とする。

### ○沖縄県出身の戦没者

- ア．満州事変に始まる15年戦争の期間中に、県内外において戦争が原因で死亡した者
- イ．1945年9月7日後、県内外において戦争が原因でおおむね1年以内に死亡した者（ただし、原爆被爆者については、その限りではない。）

### ○他都道府県及び外国出身の戦没者

- ア．沖縄守備軍第32軍が創設された1944年3月22日から1945年3月25日までの間に、南西諸島周辺において、沖縄戦に関連する作戦や戦闘が原因で死亡した者
- イ．1945年3月26日から同年9月7日までの間に、沖縄県の区域を除く南西諸島周辺において、沖縄戦に関連する作戦や戦闘が原因で死亡した者
- ウ．1945年9月7日後、沖縄県の区域内において戦争が原因でおおむね1年以内に死亡した者

### (4) 刻銘碑

「平和の火」を中心に波状に広がってデザインされており、世界に向けて平和の波が広がるようにとの願いが込められている。

### (5) 「平和の火」

沖縄戦最初の米軍の上陸地である座間味村阿嘉島において採取した火と被爆地広島市の「平和の灯（ともしび）」及び長崎市の「誓いの火」から分けていただいた火を合火（あいび）し、1991（平成3）年から灯し続けた火を1995（平成7）年6月23日の「慰霊の日」にここに移し、灯したものの。



\* 刻銘に関する情報や追加刻銘についての問い合わせ先 \*

知事公室 平和・地域外交推進課

TEL 098-894-2226 FAX 098-869-7018

## III 平和祈念資料館概要

### 1 沖縄県平和祈念資料館の概要

#### (1) 設立

沖縄県立平和祈念資料館（1975年設置）を移転改築し、平成12（2000）年4月1日に開館。  
（総事業費72億9千万円）



(2) コンセプト

- ・当館の形状は、平和の火を中心とした「平和の礎」の波状と同様の形をしており、世界に向けて平和の波が広がるようにとの願いが込められている。
- ・沖縄の伝統的な赤瓦屋根の集落をイメージしている。
- ・石のミニ博物館（大理石、花崗岩、石灰岩など 20 カ国 128 種類の石材を使用）

(3) 役割・目的

1. 沖縄戦の実相と教訓を次代へ継承する。
2. 平和を求める「沖縄のこころ」を世界に発信する。

(4) 館内展示室、他

1階	子ども・プロセス展示室（無料）、情報ライブラリー約 1,000 m <sup>2</sup> （無料） 平和祈念ホール [231 席]、企画展示室 255 m <sup>2</sup> （館主催各種展示会）
2階	常設展示室 1,360 m <sup>2</sup> （第 1～第 5 展示室 有料）、大会議室 [108 席]

(5) 開館日・時間

開館日	年末・年始（12 月 29 日～1 月 3 日）を除き年中無休 ※臨時休館日（館内燻蒸のため 7/14(火)～7/16(木)を予定）
開館時間	9 時～17 時（2 階常設展示室への入室は 16 時半まで）※6/23 は 18 時まで延長

(6) 運営体制 県直営・一部業務委託（受付・警備等）

(7) 見学・施設利用にあたっての注意事項

①全館禁煙	②館内での食事禁止 ※常設展示室では飲食ともに禁止 → 雨天時等の飲食場所：ピロティ、柱廊等（ベンチあり）
③常設展示室内の撮影禁止（※企画展示室や子ども・プロセス展示室についても禁止事項を確認してください。）	
④公園道路への駐車禁止	

(8) 観覧者数（※令和 7 年度は 4 月～2 月までの統計）

年 度	観覧者数(人)	1 日平均 (人)	年 度	観覧者数(人)	1 日平均 (人)
2000 (平成 12)	481, 018	1, 552	2013 (平成 25)	375, 411	1, 046
2001 (平成 13)	336, 245	1, 074	2014 (平成 26)	362, 092	1, 026
2002 (平成 14)	378, 793	1, 206	2015 (平成 27)	371, 368	1, 037
2003 (平成 15)	407, 152	1, 284	2016 (平成 28)	372, 502	1, 046
2004 (平成 16)	394, 111	1, 263	2017 (平成 29)	356, 619	1, 002
2005 (平成 17)	416, 162	1, 325	2018 (平成 30)	348, 623	999
2006 (平成 18)	449, 730	1, 253	2019(平 31/令元)	339, 631	965
2007 (平成 19)	439, 496	1, 228	2020 (令和 2)	47, 576	171
2008 (平成 20)	433, 163	1, 207	2021 (令和 3)	66, 767	282
2009 (平成 21)	407, 373	1, 135	2022 (令和 4)	159, 796	658
2010 (平成 22)	396, 230	1, 116	2023 (令和 5)	279, 198	862
2011 (平成 23)	391, 632	1, 103	2024 (令和 6)	313, 351	880
2012 (平成 24)	367, 555	1, 044	2025 (令和 7)	310, 524	950

\* 平成 18 年度から年中開館（ただし、年末・年始の 12/29～1/3 は休館日）

(9) その他

- ① 公園利用者の休憩場所としての利用可（常設展示室以外オープンスペース）
- ② 音声ガイドダンス（日・英・中・韓・スペイン・仏・独・伊・マレー・アラビア）現在 20 台
- ③ 車椅子 6 台、ベビーカー 2 台の貸出 ※原則、館内のみ利用可
- ④ 緊急連絡体制：受付又は警備 → 職員対応

## 2 主な事業

(1) 展示企画事業	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 常設展示</li> <li>2. 企画展 (特別企画展(年1回)、児童・生徒の平和メッセージ展、ギャラリー展(年1回)、子ども・プロセス企画展(年3回)、新収蔵品展またはミニ企画展等)</li> </ol>
(2) 教育普及事業	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 県内各学校向け平和講話の実施</li> <li>2. 児童・生徒の平和メッセージ事業(令和8年度は第36回目)</li> <li>3. 「子どもの日」親子ビデオ上映会</li> <li>4. 「慰霊の日」観覧料免除・沖縄戦関連ビデオ上映会</li> <li>5. 夏休み子ども向け企画(①親子で学ぶ平和講話②平和アニメ上映会③親子平和フィールドワーク④夏休み自由研究相談室⑤夏休み子ども教室)</li> <li>6. 児童・生徒の職場体験(インターシップ)の受け入れ</li> <li>7. 特別講座</li> <li>8. 資料館講習会</li> <li>9. 学校向け「平和祈念資料館利用案内説明会」</li> <li>10. 学校教員及び県職員等への講座(研修)</li> <li>11. 沖縄少年院連携事業</li> <li>12. 大人のための平和学習(入門編)</li> </ol> 
(3) 調査研究事業	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 企画展関連調査</li> <li>2. 日本平和博物館会議</li> </ol>
(4) 資料収集・活用事業	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 資料の収集、寄贈資料の受入</li> <li>2. 資料の貸出</li> <li>3. 保管資料の撮影・掲載等利用許可</li> </ol>
(5) 広報活動・出版等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業ごとの記者発表資料の作成</li> <li>2. 県内外学校団体の積極的誘致活動</li> <li>3. 刊行物の発行(『沖縄県平和祈念資料館年報』『沖縄県平和祈念資料館だより』『児童・生徒の平和メッセージ実施報告書』、その他展示会図録等)</li> </ol>
(6) その他の事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「平和への思い(ウイ)」発信・交流・継承事業</li> <li>* 沖縄平和啓発プロモーション事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 証言映像収録・編集・発信事業</li> <li>○ 沖縄戦の語り継ぎ手養成事業(令和6年度より開始)</li> </ul> </li> </ul>



- ① 児童・生徒の平和メッセージ事業
- ② 親子平和フィールドワーク
- ③ 親子で学ぶ沖縄戦
- ④ 沖縄戦の語り継ぎ養成事業
- ⑤ 夏休み自由研究相談室

### 3 八重山平和祈念館の概要（沖縄県平和祈念資料館分館）

展示会情報や平和学習に関する詳細情報は、ホームページをご確認下さい！



#### 八重山平和祈念館



【ホームページ】



【リーフレット】



【施設案内】 石垣市新栄町 79-3 TEL/FAX 0980-88-6161

✉ yaeyamaheiwa-mararia@basil.oce.ne.jp

【ご利用案内】

開館日	火曜日～日曜日 9:00～17:00
休館日	* 毎週月曜日（ただし、月曜日が祝日・慰霊の日・振替休日にあたる場合は開館） * 年末・年始（12月29日～1月3日） * 臨時休館日（特別の事情により必要と認めた日）

	個人	団体
大人	100円	70円
小学～大学生	50円	35円

（※団体は20名以上）

【基本理念】

「戦争マラリア」の実相を後世に正しく伝えるとともに、人間の尊厳が保障される社会の構築と、八重山地域から世界に向けて恒久平和の実現を訴える『平和の発信拠点』の形成を目指す。

【戦争マラリアについて】

「沖縄県は、去る大戦において一般県民を総動員した地上戦の場となり、20万人余の尊い命やかけがえのない文化遺産を失いました。八重山の諸島における沖縄戦では、沖縄本島のような地上戦はなかったものの、激しい空襲や艦砲射撃、そして「戦争マラリア」によって尊い命が犠牲となりました。

「戦争マラリア」とは、大戦末期の昭和20(1945)年、八重山諸島の住民がマラリアの無病地帯から有病地帯に避難を強いられたことによりマラリアに罹患し、そのうち、3,600名余の尊い命が犠牲となった出来事をいいます。

なお、八重山諸島におけるマラリアは、昭和32(1957)年から実施された「ウィーラープラン」による対策が効果を上げ、昭和36(1961)年を最後に、患者は発生していません。

【展示構成】



概要	常設展示室見取図
1. アジア・太平洋戦争に起因する沖縄戦 2. 沖縄戦と八重山 3. 戦争マラリアの悲劇 4. マラリア根絶に向かって 5. 戦争マラリア援護会の活動 6. 八重山地域における平和発信拠点を目指して	各テーマも確認できます！ 



沖縄県平和祈念資料館の『年報』『資料館だより』にも事業概要(展示活動)が掲載されています！

**IV 沖縄平和賞**  平成 13 (2001) 年に創設

「沖縄平和賞」は沖縄の持つ特性を生かして、沖縄の視点から新たな国際平和の創造を目指し、沖縄と地理的・歴史的に関わりの深いアジア太平洋地域の平和構築・維持に貢献した個人・団体を顕彰するもの。

回 (年)	歴代受賞者
第 1 回 (2002 年)	中村哲を支援するペシャワール会
第 2 回 (2004 年)	特定非営利活動法人 AMD A
第 3 回 (2006 年)	沖縄・ラオス国口唇口蓋患者支援センター
第 4 回 (2008 年)	特定非営利活動法人 難民を助ける会
第 5 回 (2010 年)	特定非営利活動法人 シェア = 国際保健協力市民の会
第 6 回 (2012 年)	特定非営利活動法人 シャプラニール = 市民による海外協力の会
第 7 回 (2014 年)	特定非営利活動法人 ジャパンハート
第 8 回 (2016 年)	特定非営利活動法人 難民支援協会
第 9 回 (2018 年)	特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター (JVC)
第 10 回 (2020 年)	特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター (JANIC)
第 11 回 (2022 年)	公益財団法人 ひめゆり平和祈念資料館
第 12 回 (2024 年)	認定特定非営利活動法人 ヒューマンライツ・ナウ



1 階 (情報ライブラリー) での「沖縄平和賞」関連の展示コーナー

**V 平和祈念公園**

1 規模 47ヘクタール

※ 公園は、霊域ゾーン・平和ゾーン・式典ゾーン・園路ゾーンの4つで構成されている



2 管理

施設名	管理	お問い合わせ
①沖縄県平和祈念資料館	沖縄県直営	TEL : 098-997-3844 FAX : 098-997-3947 ✉ webmaster@peace-museum.okinawa.jp
②平和祈念公園	公益財団法人 沖縄県平和祈念財団	TEL : 098-997-2765 FAX : 098-997-2767
③平和の礎および各県の慰霊碑・慰霊塔		✉ heiwakinenzaidan@heiwa-irei-okinawa.jp
④沖縄平和祈念堂	公益財団法人 沖縄協会	TEL : 098-997-3011 FAX : 098-997-2678

# 県内各学校向けの平和学習支援について

## I 常設展示室観覧・平和講話について

### 1. 資料館利用案内

開館日	年末・年始（12月29日～1月3日）を除き年中無休
開館時間	9時～17時（2階常設展示室への入室は16時半まで）※6/23は18時まで延長
*常設展示室のみ有料 *1階の子ども・プロセス展示室および情報ライブラリーは無料 *特別企画展（開催中の場合）も無料	

### 2. 観覧料の免除について

沖縄県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒及び教職員で、教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合は、常設展示室の観覧料が免除となります。事前の申込みが必要です。

### 3. 平和講話について

当館の設立理念である「沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、もって恒久平和の樹立に寄与する」ことを具現化するため、県内の小中高校、特別支援学校等を対象に平和講話を実施しています。当館常設展示室の観覧をお申し込みで、かつ平和講話を希望する県内各学校に資料館職員による平和講話を提供しています。児童・生徒が常設展示室を見学する前後に、沖縄戦に至るまでの歴史的な流れや戦闘の経緯、常設展示室の紹介などを、要点をおさえて約60分程度で説明し、平和のために一人ひとりが取り組めることは何かを考えさせる内容となっています。（※平和講話のみ、又は学校での出張講話については対応しておりません。）

#### ≪平和講話の主な内容≫

- ・沖縄戦に至るまでの歴史的な流れ
- ・沖縄戦の特徴
- ・沖縄戦から学ぶこと
- ・平和を築くために



\*通常、平和講話は約50～60分程度の時間をいただいて実施しています。（校種や学年等に応じて内容及び時間の微調整が可能ですが、必ず事前に御相談下さい。）4月から慰霊の日にかけては予約が混み合いますので、早めの御予約をお願いします。

#### 平和講話を受講された学校の先生方より

- \*「沖縄戦はなぜ起きたのか」、「どんな戦争だったのか」、「現在を生きる私たちが沖縄戦を知り、平和について考えること」の大切さについて学ぶことができました。（小学校）
- \*住んでいる地域のことに興味を持つ子が多いので、地域の戦争に触れてくれたので良かったです。（中学校）
- \*内容が三本柱で非常に分かりやすかった。沖縄戦が急に起きたわけではなく、国づくりや教育がいかに大切であるかを考えさせる内容でした。（高等学校）
- \*子ども達と対話をしながら講話をしてくれたので、のめりこむように聞いている子が多かった。（小学校）
- \*実際の破片を目の当たりにして、戦争がどれほどすさまじいものか実感できたと思う。（特別支援学校）

#### 4. 申請の手順について

##### 【常設展示室観覧のみの場合】

沖縄県平和祈念資料館へ問い合わせ  
TEL：098-997-3844 FAX：098-997-3947

観覧のみの場合、  
当館への電話は必須  
ではございません。

##### 【常設展示室観覧&平和講話の場合】

沖縄県平和祈念資料館へ問い合わせ  
TEL：098-997-3844 FAX：098-997-3947

平和講話会場の空き状況確認・講話時間決定

「観覧料免除申請書」の作成及び申請

##### 【当資料館ホームページから①紙申請 or ②電子申請の方法で作成・申請】

- ①「各種申請書ダウンロード」⇒「観覧料免除申請書（第2号様式）」記入⇒まずはFAX送信する
- ②「電子申請（団体見学申込等）」⇒「(2)平和祈念資料館観覧料免除申請書」電子申請画面⇒「沖縄県電子申請サービス」⇒「手続き申込」⇒順次表示される手順に従って入力

申請書の到着（FAX・電子申請）、受付後に御予約完了となります。  
※「観覧料免除申請書」のみ提出となります。（「団体見学申込書」は不要）

- はじめに
  - ・設立理念
  - ・活動実績
- 資料館の案内
  - ・ご利用案内  
団体利用申込は  
1年前の同日から承ります
  - ・混雑予想 (PDFが開きます)
  - ・展示・施設の案内
  - ・平和祈念公園近隣情報
  - ・資料館リーフレット
- Leaflet
- 平和学習
  - ・沖縄戦について
  - ・平和学習教材
  - ・資料貸し出し
  - ・平和の発信  
(児童・生徒の平和メッセージ)
  - ・県内学校への対応
- 資料紹介(収藏品・図書)



【ダウンロード版はこちらから】  
「各種申請書ダウンロード」→  
「1.施設使用・観覧料減免関連」  
にあります。

【電子申請はこちらから】  
「(2)観覧料免除申請書」→  
沖縄県の電子サービス申請画面  
がです。

- PEACE EDUCATION  
学習動画  
証言映像  
特設サイト一覧
- 資料館だより・年報
- 各種申請書  
ダウンロード
- 資料紹介  
(収集・収藏品・図書)
- 平和学習・平和発信
- 電子申請  
(団体見学申込等)
- Q & A
- リンク集
- 第32軍司令部壕  
JAPANESE THIRTY SECOND ARMY HEADQUARTERS
- The Peace  
Learning Archive in

《申請書記入方法》

※以下のどちらかをお選びいただき、各項目を記入又は入力して下さい。

【①ダウンロード版】

【②電子申請版】

The diagram illustrates the layout of the application form, divided into two versions: ① Download version and ② Electronic application version. Red callouts provide specific instructions for various fields.

**Callout 1:** 代表者氏名は学校長名を記入する（公印省略）  
 (The representative name is the school principal's name, to be entered without a stamp.)

**Callout 2:** 観覧の目的は、学校の教育課程に基づいた平和学習が目的であることが分かるように記入する（「遠足」だけでは不可）  
 (The purpose of observation should be recorded so that it is clear that the purpose is peace learning based on the school's curriculum. "Field trip" alone is not acceptable.)

**Callout 3:** 生徒数、引率者数、総人数を記入  
 (Record the number of students, the number of chaperones, and the total number of people.)

**Callout 4:** 【備考】  
 \* 平和講話を予約された場合は、ここに講話の時間帯を記入する。（例：平和講話 9：30～10：30）  
 \* 下見の日程が決定している場合もこちらへ記入。（下見の日時・観覧者氏名・人数など）  
 (Remarks: \* If you have reserved a peace talk, record the time slot here. (Example: Peace talk 9:30~10:30) \* If the date of the site visit is determined, also record it here. (Date and time of site visit, name of observer, number of people, etc.))

**Other callouts:** 沖縄県平和祈念資料館を囲む (Surround the Okinawa Peace Memorial Museum) and 沖縄県平和祈念資料館（分館除く） (Okinawa Peace Memorial Museum, excluding branches).

※申請後に変更やキャンセル等の事項が発生した場合、必ずご連絡下さい。

※学校に講師を招いて講話を希望される場合は当資料館「友の会」が対応します。

毎週水曜日 13時～16時 TEL098-997-3844に連絡をお願いします。

5. 離島・遠隔地講師派遣事業について

沖縄県内の小中高校で、所在地が離島または遠隔地にあり、当館での平和講話が受講困難な学校に対して、講師が学校に出向き平和講話を行う取り組みを実施しています。当館における展示室見学の事前または事後の学習として学校（※）での平和講話をご希望の場合に、当館から講師を派遣します。要項等をご確認のうえ、当館までお問い合わせ下さい。

【※対象について】

① 沖縄県内の学校教育法における小学校、中学校及び高等学校で、所在地が小中学校は国頭地区・恩納村、高等学校・特別支援学校は北部地区にあって、当館での平和講話受講が困難なもの。

② いじめや疾病等の理由で、学校教育法に定める学校に通うことができない児童生徒の教育支援を行っている、いわゆるフリースクールで、所在地が沖縄県内の離島または遠隔地にあって、当館での平和講話受講が困難なもの。

## 《申請方法》

沖縄県平和祈念資料館へ問い合わせ  
TEL : 098-997-3844 FAX : 098-997-3947



「平和講話講師派遣申込書」(様式1)作成・提出



資料館から、申込書を提出した学校長あてに「講師派遣決定通知書」(様式2)で通知



平和講話実施後、年度内に資料館展示室見学を実施



「平和講話及び見学実施報告書」(様式3)を2週間以内に資料館に提出

※予算の都合もありますので、必ず事前にお問い合わせ下さい。

※派遣希望日の1ヶ月前までに提出

※やむを得ない理由により、展示室の見学を延期又は中止する場合には、速やかに「資料館見学延期(中止)報告書」(様式4)を資料館に提出する。

## II 資料の貸出について(申請は4月1日から開始)

当館では、平和学習の補助教材として沖縄戦に関する写真パネルや実物資料、平和学習キット、戦争体験者の証言映像などの貸出を行っております。実際に手にとって触れることのできる資料などもありますので、当館ホームページの「資料貸し出し」より一覧や写真などからお選びいただき、貸出担当までお問い合わせ下さい。

### 1. 貸出資料の種類及び貸出期間(返却期間を含む)について

- ①沖縄戦実物資料
- ②沖縄戦の写真パネル
- ③沖縄戦の絵複製パネル
- ④児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネル
- ⑤世界人権宣言絵画パネル
- ⑥平和のウムイ地域版セット(北部地区、中部地区、那覇(南部)地区、久米島地区、宮古島地区、石垣地区)
- ⑦平和学習キット(A~D)
- ⑧戦争体験証言ビデオ(DVD・Blu-ray)

※【貸出期間】…⑥・⑦・⑧は2週間以内とする。それ以外の資料貸出については、1ヶ月以内とする。

### 2. 貸出数量について(一度の申請に対する貸出可能な数量)

資料の種類	数量(最大数量)
①沖縄戦実物資料	20点以内
②沖縄戦の写真パネル ③沖縄戦の絵複製パネル ④児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネル ⑤世界人権宣言絵画パネル	合わせて20点以内
⑥平和のウムイ地域版セット(6地区) ⑦平和学習キット(A・B・C・D)	各2セット以内 (同一キット×2は不可)
⑧戦争体験証言ビデオ(DVD)	5本以内

時期によっては貸出申請が集中し、貸出中となる資料もあります!必ず、事前に空き状況や貸出期間等についてお問い合わせ下さい。



### 3. 借用の手順について

《申請方法》 当館ホームページに、資料貸出に関する要項及び提出書類（様式）があります。

沖縄県平和祈念資料館へ問い合わせ  
TEL：098-997-3844 FAX：098-997-3947

※資料の貸出ができるか、予約状況（空き状況等）の確認のため、必ずお問い合わせ下さい。

借用する資料に応じて「貸出申請書」を作成

※借用する資料に応じて「資料貸出申請書」の様式が異なります。原則として、**貸出日の2週間前までに**申請手続きを行って下さい。

貸出申請の種類	貸出申請書
①沖縄戦実物資料	第14号様式+別紙①
②沖縄戦の写真パネル ③沖縄戦の絵複製パネル ④児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネル ⑤世界人権宣言絵画パネル ⑥平和のウムイ地域版セット（6地区） ⑦平和学習キット（A・B・C・D） ⑧戦争体験証言ビデオ（DVD）	第1号様式+別紙(明細)

\*資料の種類によって申請書の様式が異なりますので、ご注意ください！  
\*当館 HP に「資料貸出要項」、「貸し出し資料一覧表」、「申請書」があります。「平和学習」→「資料貸し出し」からご確認ください。



資料館あて FAX 又は E-mail で送信 (R6 度変更)

※資料の貸出は無料です。

※貸出資料の受け渡しは、当館への来館が基本となります。やむを得ない事情等により、郵送を希望する場合には、送料等は申請者側の負担となります。(必ず、事前に担当に御相談下さい。)

利用後は「利用報告書」（第3号様式）を提出

### 4. 貸出資料の内容

※資料の整理番号・写真・規格・サイズ・重量などの詳細情報は、当館ホームページでご確認下さい。

#### 沖縄戦実物資料

- A. 小銃 (8点)    B. 小銃弾丸 (8点)    C. 手榴弾 (8点)    D. 砲弾 (2点)    E. 砲弾の破片 (9点)  
 F. 銃剣 (5点)    G. 鉄かぶと (4点)    H. 水筒 (6点)    I. 飯盒 (6点)    J. 軍靴 (8点)  
 K. 防毒マスク (6点)    L. 薬品びん (9点)    M. めがね (4点)    N. 手術道具 (4点)  
 O. 万年筆 (4点)    P. 時計 (4点)    Q. 歯ブラシ (4点)    R. 石けん箱 (4点)    S. お椀類 (4点)  
 T. 認識票 (3点)



#### 沖縄戦写真パネル

- 沖縄戦**
- ・戦闘状況 (パネル B) ……90点
  - ・人間の死相 (パネル D) ……17点
  - ・収容状況 (パネル E) ……69点
- サイパン・テニアン戦**
- ・サイパン (パネル S) ……17点
  - ・テニアン (パネル T) ……13点



## 沖縄戦の絵パネル

沖縄戦体験者が描いた絵を複製しパネル化したもの。(対馬丸沈没、10・10空襲、野戦病院壕の様子、学徒隊、摩文仁の様子、戦禍の状況、赤ちゃんや高齢者を含む住民の犠牲などに関する52点がある)



## 児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネル

当館が毎年開催している「児童・生徒の平和メッセージ」事業の作文、詩及び図画部門において、最優秀賞及び優秀賞として入賞した作品。



## 平和のウマイ地域版セット

「子や孫につなぐ平和のウマイ事業」で制作した県内6地区〔北部、中部、那覇(南部)、久米島、宮古島、石垣島〕ごとの平和学習セット。DVD(1枚)、写真パネル、証言集で構成されている。



## 世界人権宣言絵画パネル

当館が主催する「児童・生徒の平和メッセージ展」入賞作品の図画に、世界人権宣言の条文を記載して制作したもの。(第1条~第35条)



## 戦争体験証言ビデオ(DVD・BL)

沖縄戦体験者の証言を収録した映像資料で、DVD、多言語ブルーレイディスク等がある。当時の様々な状況下(年齢・立場・地域等)での戦争体験の証言映像が収録されている。535人分の証言映像があり、そのうち一部は「戦世の記憶~戦争体験者多言語証言映像~」として、WEB公開している。(当館ホームページにあり)



## 貸出資料を活用された学校より

**実物資料**…●生徒は実物資料を手に取り、お互いに感想を言いながら、平和について考えていました。なかなか、手にすることができない資料を触ることができて良かったと感想を述べていた。(中学校)

**平和学習キット**…手に取ってじっくり見られる複製品などがあったので、子どもたちが実際に触って、こんなものがあったんだなど実感できる機会になったと思います。特に方言札と数の本はよく手に取られていました。話を聞いたことがあって、身近に感じたのかと思います。(小学校)

## 平和学習キット A (戦争とくらし)

【19点の複製資料とパネルで構成】

- ①軍機を語るな (ポスター) ②敵性語めぐり式カード
- ③大阪朝日新聞記事「珍妙な名はやめよ」(改姓改名時代)
- ④改姓の実例(表) ⑤大阪朝日新聞記事「方言の殲滅へ」
- ⑥方言札(複製) ⑦国民学校で使用された算数の教科書(複製)
- ⑧紙幣(複製) ⑨戦時報国債権
- ⑩支那事変国庫債権 ⑪衣料切符 ⑫出征幟(複製)
- ⑬千人針の腹巻き(複製) ⑭疎開児童らの献立表
- ⑮疎開児童体重状 ⑯戦争中の食糧(写真) ⑰B 円軍票
- ⑱日本渡航証明書 ⑲身分証明書

《内容イメージ》



キット A

## 平和学習キット B (沖縄戦の記憶)

【20点の複製資料とパネルで構成】

- ①アジア・太平洋戦争の動き(地図) ②沖縄守備軍の飛行場建設地図
- ③沖縄新報(全県下に義勇軍)
- ④沖縄戦の戦闘経緯(地図) ⑤第32軍兵団長会の訓示[一部抜粋](テキスト)
- ⑥首里陥落後の南部撤退時の牛島司令官の言葉(テキスト)
- ⑦沖縄戦における日米戦力の比較(図)
- ⑧沖縄戦での日米両軍の損害(図) ⑨出頭状
- ⑩臨時召⑩集令状 ⑪現役兵証書 ⑫死亡告知書 ⑬投降ビラ A
- ⑭投降ビラ B ⑮鹿山文書 ⑯日本軍による住民犠牲(地図)
- ⑰戦後の人口の年齢構成(グラフ)
- ⑱沖縄戦戦没者総数の推計(グラフ) ⑲むすびのこぼ
- ⑳証言本(8冊)

《内容イメージ》



キット B

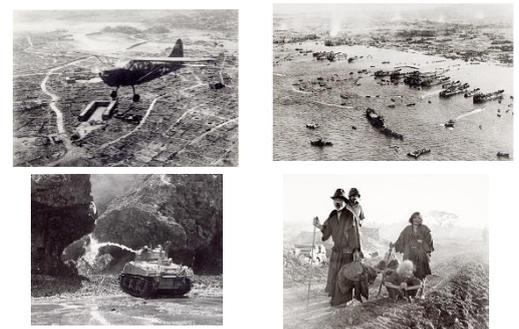
証言本

《内容イメージ》

## 平和学習キット C (沖縄戦の記録写)

【A2判 30枚の写真パネルで構成】

米軍の慶良間列島への上陸(3/26)、沖縄本島への上陸(4/1)から各地での戦闘状況(4~6月)、住民の犠牲、捕虜・収容所の様子など沖縄戦に関する写真で構成されている。



## 平和学習キット D (みんななかよく)

【幼児・小学校低学年向け:絵本1点、紙芝居2点で構成】

- ・絵本『動物と人間』(22ページ)
- ・紙芝居『ローズちゃんとあずきちゃん』(14枚)
- ・紙芝居『少年兵と女の子』(12枚)

《内容イメージ》



貸出資料をご活用いただいた各学校からの「利用状況報告書」をもとに、利用状況や感想をまとめた一覧表を参考資料①に掲載しています。平和学習の参考にどうぞ!



### Ⅲ 学習サポートについて

1階の情報ライブラリー（図書室）では、平和学習や「総合的な学習の時間」等のサポートも行っていきます。絵本、児童書、戦争体験証言集、沖縄戦関連書籍および当館の刊行物など、平和学習に役立つ資料約16,000点（児童書約2,300点を含む）を所蔵しています。



### Ⅳ 資料館見学にあたっての注意事項等

当館では、来館者が安全で快適な見学を行えるように努めております。見学にあたっては、以下のことについて御協力をお願いします。

#### 1. 学校（団体）等へのお願い

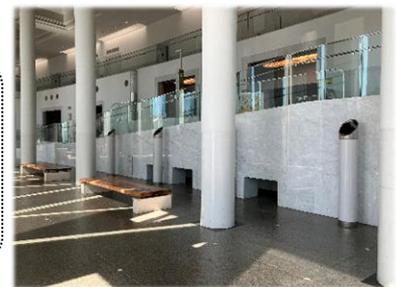
1. ワークブック等を活用する場合、記入場所がありません。あらかじめ、クリップボード（記入板）等をご用意下さい。
2. 2階常設展示室の出入り口付近は混雑しますので、集会等のご遠慮下さい。
3. 情報ライブラリーを利用する場合には、利用した図書は元の場所へ戻すようお願いいたします。
4. 他の来館者への迷惑にならないように、マナーを守り静かに見学しましょう。
5. 展示品は大切に扱きましょう。
6. 見学日に混雑する場合があります。その際には、係員の指示に従ってご入場下さい。

#### 2. 館内での撮影について

\* 2階常設展示室は、**全面撮影禁止**となっています。修学旅行や遠足などでカメラマンを伴って来館される場合には、**ご注意下さい。（平和講話の様子等は撮影可能です。）**

#### 3. 団体見学時の荷物置き場について

\* 平和講話や団体見学時に不要な荷物（カバン類、水筒等）は、スロープ下付近のスペースをご利用可能です。係員の指示に従って、所定の場所に並べて置くようお願いいたします。講話会場や展示室入室前の全体連絡・諸注意もこちらでお願いします。



#### 4. 雨天時の昼食場所等について

1. 当館に接続する屋根のある廊下は当館の敷地ですので、特別な申請は必要ありません。
2. 上記1以外の場所は、沖縄県平和祈念財団が管理する公園ですので、昼食等で利用する場合は平和祈念財団にお問い合わせいただき、利用申請等を行って下さい。



平和祈念資料館  
【申請等不要】



沖縄県平和祈念財団  
【お問い合わせ先】  
098-997-2765

## 令和7年度 貸出資料利用状況報告

## 1. 貸出資料の種類

- ① 沖縄戦実物資料 ② 沖縄戦の写真パネル ③ 沖縄戦の絵複製パネル  
 ④ 児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネル ⑤ 世界人権宣言絵画パネル  
 ⑥ 平和のウムイ地域版セット (6地区: 北部、中部、那覇(南部)、久米島、宮古島、石垣)  
 ⑦ 平和学習キット (A~D) ⑧ 戦争体験証言ビデオ (DVD・Blu-ray)

## 2. 貸出累計

	沖縄戦実物資料	沖縄戦の写真・絵パネル	平和メッセージ入賞作品	平和のウムイ地域版セット	証言ビデオ	平和学習キット(A~D)	平和学習キットA	平和学習キットB	平和学習キットC	平和学習キットD
県内	139	177	48	7	17	32	15	10	5	1
県外	38	174	4	2	3	7	2	3	2	0
合計	177	351	52	9	20	39	17	13	7	1

## 3. 利用状況及び感想

団体名	利用状況・感想
県内高等学校 (図書室)	<p><b>沖縄戦実物資料(4点)</b>          戦争の恐ろしさについて、実感が持てるように実物展示を行った。特に、大きな砲弾は生徒の関心が高く、その破片は実際に持ってとがり方や重さを知ることができた。こんなに大きな鉄の塊が20万トン落とされたということを知って驚いたり、言葉にならなかつたりする生徒も多かった。高校生はすでに小中学校で沖縄戦についての学びの蓄積があるが、実物をはじめて見たという生徒も多く、学んできたことと実物の資料が持っている強烈な情報をつなぎ合わせてより深い学びになっているのではないかと感じた。いつもは特集展示に興味を示さない生徒、こちらへ発信する言葉が少ない生徒が真剣に資料を見ていたり、感想を言ったりするのが印象的だった。実物展示のおかげで今年も多くの生徒の言葉や考えに触れることができた。</p>
(那教事) 中学校 (図書館)	<p><b>沖縄戦実物資料(8点)</b>          生徒だけでなく、校長をはじめ、教員や学校行事の平和講演会講師と多くの方に見ていただきました。          実際に鉄かぶとを持ち上げ、「重い」、「意外と軽い」という声がありました。「こんなのかぶって走れない」と兵隊さんのおかれた状況を想像する事ができたような生徒もいました。自分事として捉えることは難しいと思いますが、想像力と平和を希求する心を持ち続けて欲しいと思います。</p>

<p>県内高等学校 (図書室)</p>	<p><b>沖縄戦実物資料 (2点)</b>          展示を見た生徒は「これは本物？」と尋ねてきて、本物だと分かると興味深そうに観察していた。          実物を見た教職員も驚いていて、さらに、資料館から資料を借りられることに興味を持った方もいた。</p>
<p>(那教事) 小学校 (図書館)</p>	<p><b>沖縄戦実物資料 (7点)</b>          児童、教諭ともに関心が高く、平和学習に役立った。特に砲弾の破片は児童に実際に持ってもらい、重さを体感してもらったのでよりリアルに感じたようだ。</p>
<p>(那教事) 小学校 (6年フロア)</p>	<p>●<b>平和のウマイ地域版セット、平和学習キット A・B</b>          ・校内フィールドワークで見学したことや図書資料、情報機器等で調べたことを貸出資料で再確認、再認識することができた。          ・「千人針の腹巻き」「方言札」などの資料を実際に手にすることで当時の人々の想いや時代背景を知ることができた。          ・写真資料やグラフなどを視覚的に見ることで、戦争の悲惨さ、残酷さを考えることができた。</p>
<p>県立特別支援学校 (図書室)</p>	<p>●<b>平和学習キット A、沖縄戦絵パネル 7点、実物資料 6点、児童・生徒の平和メッセージ展 7点</b>          図書室に平和学習キットを展示すると、生徒たちは、キャプションや教師の説明を聞いて、方言札やB円に興味を持ちよく見て言いました。今はなかなか触れることのできない当時の生活の状況をキットに納められている物を見て、感じたり認識したりすることができました。</p>
<p>(那覇教事) 中学校 (図書館)</p>	<p>●<b>実物資料 7点、平和学習キット A</b>          多くの生徒が図書館に足を運び、興味深く展示物を見ていました。平和学習キットは社会科で学習したことのある品もあり、生徒の関心を深める良い機会となりました。キットにそれぞれ細かな説明書きが添付されているので、展示の際に助かりました。</p>
<p>県立特別支援学校 (図書室)</p>	<p>●<b>実物資料 4点、世界人権宣言絵画パネル 8点、沖縄戦絵パネル 8点</b>          なかなか外部の平和教育に関する施設へ行くことができない児童・生徒達なので、貸借した現物やパネルなどをクラスでの平和教育に使用することができ、より平和・戦争について学ぶことができた。</p>
<p>(島教事) 中学校 (図書館)</p>	<p>●<b>児童・生徒平和メッセージ展、沖縄戦絵パネル 5点、平和学習キット C</b>          社会科の授業でパネル展を見学し、平和について学ぶ取り組みができました。戦後 80 年ということで、平和講話、各学年での平和学習、全校一斉道徳ともリンクして、生徒一人ひとりが自分事として学ぶきっかけになりました。</p>
<p>県立高等学校 (図書館)</p>	<p>●<b>沖縄戦の絵パネル 7点、平和のウマイ地域版 (中部) セット、平和学習キット A、平和のウマイ DVD 3点</b>          国語や社会の授業で展示の紹介や平和学習に関する取り組みがありました。沖縄戦の絵パネルを見せる前に、教諭から沖縄戦についての説明後に見学をしました。真剣に見る生徒と関心がない生徒に分かれました。          戦争体験者から直に体験を聞く機会がなくなっている中で沖縄戦の絵パネルは、大変貴重な資料だと思います。しかし、見ようとするのは一部の生徒のため、今後の展示の方法や沖縄戦や平和に関しての取組方法の検討が必要だと感じました。</p>
<p>(那教事) 小学校 (6年フロア)</p>	<p>●<b>平和のウマイ地域版セット、平和学習キット A・B</b>          ・校内フィールドワークで見学したことや図書資料、情報機器等で調べたことを貸出資料で再確認、再認識することができた。          ・「千人針の腹巻き」「方言札」などの資料を実際に手にすることで当時の人々の想いや時代背景を知ることができた。          ・写真資料やグラフなどを視覚的に見ることで、戦争の悲惨さ、残酷さを考えることができた。</p>

<p>県立特別支援学校 (図書室)</p>	<p>●平和学習キットA、沖縄戦絵パネル7点、実物資料6点、 児童・生徒の平和メッセージ展7点 図書室に平和学習キットを展示すると、生徒たちは、キャプションや教師の説明を聞いて、方言札やB円に興味を持ちよく見て言いました。今はなかなか触れることのできない当時の生活の状況をキットに納められている物を見て、感じたり認識したりすることができました。</p>
<p>(那教事) 中学校 (図書館)</p>	<p>●実物資料7点、平和学習キットA 多くの生徒が図書館に足を運び、興味深く展示物を見ていました。平和学習キットは社会科で学習したことのある品もあり、生徒の関心を深める良い機会となりました。キットにそれぞれ細かな説明書きが添付されているので、展示の際に助かりました。</p>
<p>県立特別支援学校 (図書室)</p>	<p>●実物資料4点、世界人権宣言絵画パネル8点、沖縄戦絵パネル8点 なかなか外部の平和教育に関する施設へ行くことができない児童・生徒達なので、貸借した現物やパネルなどをクラスでの平和教育に使用することができ、より平和・戦争について学ぶことができた。</p>
<p>(島教事) 中学校 (図書館)</p>	<p>●児童・生徒平和メッセージ作品、沖縄戦絵パネル5点、平和学習キットC 社会科の授業でパネル展を見学し、平和について学ぶ取り組みができました。戦後80年ということで、平和講話、各学年での平和学習、全校一斉道徳ともリンクして、生徒一人ひとりが自分事として学ぶきっかけになりました。</p>
<p>県立高等学校 (図書館)</p>	<p>●沖縄戦の絵パネル7点、平和のウミ地域版(中部)セット、平和学習キットA、 平和のウミDVD3点 国語や社会の授業で展示の紹介や平和学習に関する取り組みがありました。沖縄戦の絵パネルを見せる前に、教諭から沖縄戦についての説明後に見学をしました。真剣に見る生徒と関心がない生徒に分かれました。 戦争体験者から直に体験を聞く機会がなくなっている中で沖縄戦の絵パネルは、大変貴重な資料だと思います。しかし、見ようとするのは一部の生徒のため、今後の展示の方法や沖縄戦や平和に関しての取組方法の検討が必要だと感じました。</p>
<p>県立特別支援学校 (玄関前)</p>	<p>●沖縄戦の絵パネル9点、児童・生徒平和メッセージ作品11点 沖縄戦終結から80年の節目にある中で、沖縄戦の絵パネルや児童生徒の入賞作品を玄関前に展示した。そのおかげで、自身の障害を抱えながらも懸命に学び生きる児童生徒一人一人に、平和の尊さと豊かな沖縄を力強く視覚的に伝えることができた。掲示できなかった資料等も児童生徒の実態に合わせて授業等で活用することができた。</p>
<p>(国教事) 中学校 (図書館)</p>	<p>●沖縄戦の絵パネル7点、沖縄戦実物資料2点 生徒たちに「自分事」として考えてもらうため、写真パネルと一緒に展示しました。今の自分と同じ年頃の人達が、戦時中どのような体験をしたのか、住んでいる地域でどんなことがあったのか知り、考えてもらう機会になったと思います。また、北部地域の資料が少ないため、沖縄戦の絵パネルをお借りしました。講話に来てくださった地域の方のお話に出てきた場面の絵もありました。講師の方もご覧になって「そうだったね。こんなだったよ」とおっしゃっていました。</p>
<p>県立特別支援学校 (教室)</p>	<p>●沖縄戦実物資料9点 「戦争」「命が失われる」ということがイメージしにくい知的障害の児童生徒に実際に遺留品をみせ、触らせ、そのものが実際に使われていた映像を見せることで五感を通して「怖さ」を感じてもらいました。 児童生徒からは「これは爆弾だ、危ない」や「バンバンしたら死んじゃうよ」など生徒なりに様々なものを感じ取っている様子が見られました。最後に「戦争」は怖いもの？してはいけないもの？という教師の問いかけにすべての生徒が「はい」と答えていました。</p>

## 平和学習キット

- キットA《戦争とくらし》・・・19点の複製資料、パネル（方言札、千人針腹巻き、B円軍票など）
- キットB《沖縄戦の記憶》・・・20点の複製資料、パネル（証言本8冊、沖縄戦戦闘経緯地図など）
- キットC《沖縄戦の記録写真》・・・A4判30枚の写真パネル
- キットD《みんななかよく》・・・幼児、小低学年向けの絵本1点、紙芝居2点

団体名	貸出数	利用状況・感想
県立特別支援学校 (図書室)	1 (A)	今年度、初めての利用でしたが、千人針のお守りや方言札など戦争当時を知ることができる具体物を展示することで、低学年の子ども達でもイメージすることができました。また、貧しい食事の状況などから、今の豊かさや幸せが尊いものであることを子ども達が感じる良い機会になったのではないかと感じました。
(中教事) 小学校 (図書館及び児童玄関前)	2 (A, B)	毎年、この時期に平和学習キットを借用しています。児童たちも見慣れてきたかなと思います。毎年、必ず展示している物に興味を示し、質問したり、じっくり説明文を読んだりする子がいます。以前に見て知ったことを他の子に教えてあげる子もいます。今回は図書館だけでなく児童玄関前にも一部展示しました。同じような内容でも展示して伝え続ける意味はあると実感しています。
(那教事) 小学校 (図書館前掲示板)	2 (C, D)	全校児童が通る図書館前に設置しました。1年生から6年生まで感じ方は様々ですが、それぞれ見入っているようでした。生の声を聞ける機会が減っていく中、リアルを感じられるパネルを展示することができ、より自分事として捉えることができました。
(島教事) 小学校 (多目的教室)	1 (C)	平和学習の一環として、沖縄戦ミニ展示コーナーを作り、新聞記事やその他関連資料と合わせて借用した資料を展示した。慰霊の日に合わせて多くの児童が見学してくれて、沖縄戦についての理解を深めていくのに効果的であったと感じた。機会があればまた、借用したい。
(那教事) 中学校 (図書館)	2 (A, B)	生徒や教職員が展示資料を見に訪れた。方言や改姓についての関心が特に高かった。実際に触ることのできる展示物や大きく目を引く、レプリカがあって、より現実として考えやすく案内できた。とても良かった。また、活用したいと思った。
県立高等学校 (図書館)	1 (A)	本校では、「ここからはじまる平和のカタチ」をテーマに平和資料展を実施した。展示スペースの入口に平和学習キットを置き、その後、図書委員会の平和に関する本や写真の展示、美術選択授業の作品「私が考える平和とは」を続けて展示した。最初に平和学習キットを置いたことで、参観者はまず、80年前の事実と向き合い、その後「では、ここからどうやって平和をつくっていけばいいのだろう」と考えることができた様子だった。生徒はじっくりキャプションを読んでいて、真剣に展示を観ていた。



貸出資料をご活用いただいた各学校からの「利用状況報告書」をもとに、利用状況や感想をまとめた一覧表です。平和学習活動の参考になれば幸いです！

今後も平和講話の感想や貸出資料の利用状況等、是非多くの声をお聞かせ下さい！

また、皆様の学校における平和学習の取り組み事例についても情報をお寄せください。当館の教育普及事業の参考とさせていただきます。御協力よろしくお願ひします。

## 常設展示室(第1展示室～第5展示室)

### 【第1展示室】 沖縄戦への道

常設展示室は、住民の視点から見た沖縄戦の実相と教訓を次世代に伝えることを目的に展示構成されています。



概 要	
<p>第1展示室では、琉球王国であった沖縄が日本の枠組みの中に組み込まれて行く過程から沖縄戦突入までの経過を、世界やアジアの国々の動きを交えてふりかえることができます。</p> <p>企画コーナーでは、各国の教科書に書かれた「アジア・太平洋戦争」や「沖縄と南洋諸島」「南洋諸島の戦闘と沖縄出身移民」をテーマにした資料展示と、映像資料「サイパンの戦闘」(48分)を上映しています。</p>	

### 【第2展示室】 住民の見た沖縄戦 鉄の暴風



概 要	
<p>第2展示室では、沖縄で日本軍とアメリカ軍の戦いがどのように行われたのかを立体地図と映像で見ることができます。「沖縄戦の戦闘経緯」(約13分)をメインスクリーンで、また、5つのディスプレイを使用して地区ごとの状況を上映しています。</p> <p>副室では「住民犠牲の諸相」をテーマに、戦争にまきこまれた住民がどのような被害を受け、犠牲になったのかなども説明しています。</p>	

### 【第3展示室】 住民の見た沖縄戦 地獄の戦



概 要	
<p>第3展示室では、沖縄戦で住民の受けた惨劇を地下(ガマ)と地上(死の彷徨)で象徴的に展示しています。ガマのコーナーでは、住民の証言をもとに、ガマで繰り返された惨状について4つの場面で再現しています。地上のコーナーでは、鉄の暴風が吹き荒れる地上の状況を表現し、その中で起きた悲惨な状況を写真パネルと当時の住民が着ていた着物を通して浮き上がらせています。</p>	

### 【第4展示室】 住民の見た沖縄戦 証言



概 要	
<p>第4展示室では、沖縄戦を体験した人々の証言を文章や映像で見ることができます。沖縄戦の実相を語る時、物的資料となるものが非常に少ないため、当時の様子を知るためには、沖縄戦を体験した方々の証言はとて貴重な資料となります。砲弾の中をかいくぐった住民、ガマの惨劇、学徒隊、従軍看護婦など145人分の証言文を展示しています。(一部は点字や英文の証言もあり)映像ブースでは、1,000件以上の証言映像を見ることができます。</p>	

## 【第5展示室】 太平洋の要石



### 概要

第5展示室では、戦後の収容所生活、27年間の米軍統治、米・ソ冷戦時代に強化されていく軍事基地の姿、米軍の占領下で土地を奪われ、さまざまな抑圧を受けてきた県民による島ぐるみの土地闘争や復帰運動、「平和の要石」として平和創造を目指す沖縄の展示構成となっています。展示資料は、写真や映像、文献資料、新聞記事、実物資料、模型や町並みの再現など多岐にわたっています。

## 子ども・プロセス展示室

### 子ども・プロセス展示室 ～3つのテーマと展示～



子ども・プロセス展示室、情報ライブラリーは無料で見学・利用することができます！

### 概要

未来を担う子どもたちが、積極的に平和を愛する心を育むための子ども・プロセス展示室は、大きく3つのテーマで構成されています。

「ぬちどう宝・せかいの子どもたち！」は、18カ国・18人の子どもたちの生活をおして、世界の多様性について学ぶことができるコーナーです。18人の子どもの日常生活について映像をおして見ることができます。「いま、せかいで何が」は、なくなならない戦争・紛争、いじめなどの人権問題、むしばまれる地球環境など、世界的な、或いは身近な問題を取り上げ、その原因、どのようにして解決できるのかなどを考えてもらうコーナーです。「わらびな一(庭)」は、展示物にふれながら、遊びを通して共通性を発見し、違いを認め合うきっかけづくりができるコーナーです。



### ひろば・ゆいまーる



ご来館の際には、常設展示室の観覧と併せてこちらも是非ご覧下さい！



### 概要

展示内容に関するミニ企画展や学習作品の展示などを行う広場です。子ども向けの展示会「子ども・プロセス企画展」が年に4回ほど行われています。

### 情報ライブラリー

### 概要

情報ライブラリーでは、数多くの図書・雑誌を閲覧できるほか、AVブースでは戦争体験者の証言映像や平和に関するビデオ等も視聴可能です。検索コーナーでは、資料館の収蔵品や図書文献資料に関する情報や、展示室の解説、平和学習の教材など、いろいろな情報を見ることができます。



資料の探し方や調べ方、モニターの操作等、何か分からないことがあればカウンターの係に相談して下さいね！



## 沖縄戦や平和祈念資料館を知るための参考資料(関連書籍・当館刊行物)

※ ここで紹介している書籍・刊行物等は、資料館1Fの情報ライブラリーで閲覧できます。

### 『沖縄県史 各論編6 沖縄戦』

沖縄県教育庁文化財課史料編集班編 平成 29 (2017) 年 3 月刊行  
～沖縄戦を風化させない。次世代へ伝える沖縄戦の研究と記録～  
本書は次の三つの視点で構成されている。

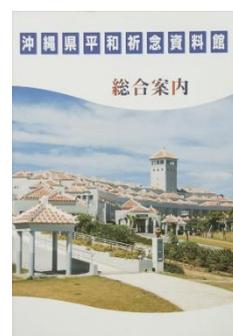
- ①最新の「沖縄戦」研究の成果をふまえる
  - ②県史・市町村字史の蓄積と成果をふまえる
  - ③住民視点、証言を大事にする
- これまでの沖縄戦研究の成果をまとめる一方、いままであまり取り上げられてこなかった「障がい者」「ハンセン病者」「戦争トラウマ」「不発弾」などの分野にも光をあてた、37 人の執筆者による 72 編の論文によって、沖縄戦研究に新たな視点を開く一冊。



詳細情報は

### 『沖縄県平和祈念資料館 総合案内』

資料館の展示内容について、写真・資料・図版を中心に構成した解説書。常設展示室、子ども・プロセス展示室の展示構成に沿うかたちで和文・英文を併記し解説を加えている。また、歴史年表等の関連資料や「平和の礎」をはじめとする平和祈念公園内の関連施設の概要についても紹介している。



### 『平和への証言 体験者が語る戦争』

沖縄県平和祈念資料館で公開している沖縄戦の証言 80 編を収録。この証言集の構成は、沖縄戦直前の疎開と十・十空襲、そして沖縄戦については中部、南部、北部、離島ごとに編集し、外地での戦争体験も収録している。巻末には、戦争を体験した方々の平和への思いを「体験者が語るメッセージ」として掲載している。



### 『沖縄の戦争遺跡』

県内に残る戦争遺跡について、写真や分布図、そこから出土した遺物、沖縄戦当時の写真等を多数掲載して解説している。戦争遺跡を現地見学する際にガイドブックとしても活用できる内容構成となっている。



### 『資料館学習の手引き』

沖縄県平和祈念資料館を活用した平和学習のための教師用手引書。施設案内や展示案内、資料編などを収録。展示室案内の項目では各展示室の概要、見取図、展示の捉え方・視点、展示の構成(テーマ)などを掲載し、資料館の観覧・利用



### 『沖縄県平和祈念資料館ワークブック』

沖縄県平和祈念資料館を活用した平和学習のためのワークブック。資料館の展示に沿って構成され、小学校高学年から中学生・高校生まで幅広く利用できる内容となっている。学習編をメインに感想編、資料編を収録し、事前学習や展示室見学時にも活用できる一冊。



書籍名	発行年	価格（税込）	備考
『平和への証言 体験者が語る戦争』	平成 26（2014）年発行	¥ 850	公園案内所にて購入できます。
『沖縄県平和祈念資料館ワークブック』	平成 15（2003）年発行	¥ 396	
『沖縄県史 ビジュアル版 14 沖縄戦』	令和 7（2025）年発行	¥ 2,000	沖縄公文書館

※資料館内のミュージアムショップは、2021（令和3）年3月末で閉店しました。

## 沖縄戦を知るための参考資料（統計データなど）

### 「平和の礎」刻銘者数

沖縄県の「平和の礎」関連ページ。刻銘者数について、各項目（出身地別、県内市町村別、都道府県別）の一覧表で掲載している。（言語表記：日本語・英語・韓国語）その他、建設の趣旨や基本理念、デザインコンセプト、刻銘の基本方針、追加刻銘手続き方法などのコンテンツで紹介している。



### 【「平和の礎」刻銘者数】

<https://www.pref.okinawa.jp/heiwakichi/jinken/1008269/1008287/1008288/1008292.html>

### 戦没者遺骨収集情報センター

沖縄県平和祈念財団分室「戦没者遺骨収集情報センター」のサイト。沖縄戦の遺骨収集状況に関する資料（※沖縄県保護・援護課作成）が年度別で掲載されている。その他にも、センターの機能及び役割、戦没者遺骨収集フローチャート、遺骨収集についても留意事項などに関する資料がある。



【戦没者遺骨収集センター】 <http://heiwa-irei-okinawa.jp/jouhou/>

### 沖縄県消防防災年報

沖縄県知事公室防災危機管理課が毎年発行している刊行物。不発弾等の処理事業の概況、不発弾等処理件数、不発弾処理等実績（件数・重量）などの一覧表やグラフなどの統計データを確認できる。



【沖縄県消防防災年報】 <https://www.pref.okinawa.jp/site/chijiko/bosai/11351.html>

# 沖縄戦を知るための参考資料(WEB 公開されている証言映像など)

## 戦世の記憶—戦争体験者多言語証言映像

沖縄県平和祈念資料館が平成 28 年～29 年度において収録した戦争体験者の証言映像 70 名分を多言語化（日・英・中・韓・スペイン・ドイツ・フランス・マレー）。国内のみならず海外においても沖縄のこころを広く発信するために、資料館ホームページ上で公開している。証言内容を文章でも確認

## 戦世からのあゆみ—戦争体験者戦中・戦後の証言映

令和 2 年度に収録した戦争体験者 30 名による戦前から戦後の復興へと向かう証言映像を公開している。沖縄本島及び離島、日本本土、台湾、サイパン、満州などで戦世を生き抜き、戦後の復興に尽力した方々の証言からは、荒廃した社会が甦るプロセスと絶望から這い上がった人びとの息吹やエネルギーを感じることができる。多言語（日・英・中・韓・スペイン・ドイツ・フランス・マレー）字幕・吹き替えあり。

## 世替わりを生きて—戦後の証言映像

令和 4 年度に収録した終戦から日本復帰へと向かう時代を経験した人々の証言映像（20 名）を公開している。教育関係者やジャーナリスト、琉米文化会館職員、観光産業、芸能など多様な職種の方々の証言からは戦後のアメリカ統治下をたくましく生きたウチナンチュの祖国復帰への苦難の道のりと強い思いを感じることができる。多言語化（日・英・中・韓・スペイン）字幕あり。証言者の略年表や証言内容を文章でも確認できる。

沖繩県平和祈念資料館  
webmaster@peace-museum.okinawa.jp

HOME | サイトマップ | ENGLISH | お問い合わせ

はじめに

● 設立理念  
● 活動実績

資料館の案内

● ご利用案内  
団体利用申込は 1 年前の同日から承ります  
● 混雑予想 (PDFが開きます)  
● 展示・施設の案内  
● 平和祈念公園近隣情報  
● 資料館リーフレット  
Leaflet

● 平和学習  
● 沖縄戦について  
● 平和学習教材  
● 資料貸し出し  
● 平和の発信 (児童・生徒の平和メッセージ)  
● 県内学校への対応

学習動画・証言映像等 特設サイト

● 学習動画・資料  
● 証言映像  
● 「平和への思い」発信・交流・継承事業

資料館だより・年報  
各種申請書ダウンロード  
資料紹介 (収集・収蔵品・図書)  
平和学習・平和発信  
電子申請 (団体見学申込等)  
Q & A  
リンク集

当館 HP 右側のバナーから利用できます！



## 沖縄平和学習アーカイブ(沖縄戦戦争体験証言)

「沖縄平和学習アーカイブ」「The Peace Learning Archive in OKINAWA」では、沖縄戦争体験者の証言 102 名分と、182 点の沖縄戦写真並びに資料地図を閲覧できる。複数のデジタルアーカイブをデジタルアース上の地図に重ね合わせ、沖縄戦について多面的で総合的な理解ができる構成となっている。



【沖縄平和学習アーカイブ】 <https://peacelearning.jp/>



沖縄県平和祈念資料館 HP のホームページから WEB サイトに入ることができます。

【「平和学習」の項目をクリック】



【沖縄戦戦争体験証言集】

## 沖縄戦継承事業 戦場に動員された 21 校の学徒

沖縄戦の惨禍を次世代に伝え、平和を希求する心を育てるため、沖縄県は、沖縄戦に動員された 21 校の各学徒隊の沖縄戦における動員、撤退、解散の状況や学徒が体験した証言をスマートフォン等で視聴できる動画をインターネットで配信している。



21 校の学徒隊の状況と証言を視聴できます！

\* 証言映像のナレーションは制作当時の県内高校生が担当しています！

【戦場に動員された 21 校の学徒隊】

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/kyoiku/seikatufukus>

# 当館ホームページのご利用案内

## 沖縄県平和祈念資料館ホームページ

沖縄県平和祈念資料館の設立理念や取り組みについて、県内外及び海外を含め広く皆様に知っていただくため、当館ではホームページによる情報発信も行っています。ホームページ上では、当館の設立理念や施設利用案内をはじめ、平和学習や収蔵資料の紹介、各種展示会情報などを提供しておりますので是非、ご利用ください。また、当資料館公式「X」では随時、平和祈念資料館情報を発信しております。この機会に登録の方、よろしくお願いします。

【お問い合わせ】こちらから！

最新のお知らせや各種展示会情報などを随時、発信！

沖縄県平和祈念資料館  
Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum

[webmaster@peace-museum.okinawa.jp](mailto:webmaster@peace-museum.okinawa.jp)



HOME サイトマップ ENGLISH お問い合わせ

資料館/館/からの/お/知/ら/せ



資常設展示室  
(第1～5展示室)の解説  
や見取図は  
こちらから確認  
できます！

資料館案内

団体利用申込は  
1年前の同日から承ります

・混雑予想 (PDFが開きます)

・展示・施設の案内

・平和祈念公園近隣情報

・資料館リーフレット

Leaflet

平和学習

・沖縄戦について

・平和学習教材

・資料貸し出し

・平和の発信

(原簿・生徒の平和メッセージ)

・県内学校への対応

資料紹介(収蔵品・図書)

県内学校への対応  
(観覧料免除申請  
や平和講話等)、  
貸出資料等の平和  
学習に関する情報  
はこちら！

沖縄戦の戦闘  
経緯、県内各  
地域の戦闘に  
ついてまとめ  
ています！

館長 大城 友恵 (令和7年度～)

【見学案内】

時～午後5時  
示室への入室は午後4時30分まで  
始 (12月29日から1月3日まで)

観覧料 大人(個人300円、団体240円)  
小人(個人150円、団体100円)  
※1 お支払いは現金のみ  
※2 団体：20名以上  
※3 小人：小学生～大学生(専門学校生含む)

【入館に関するお知らせ】

○混雑状況について  
団体利用申し込みの状況から混雑予想を作成しています。  
ご来館の参考にご確認ください。|  
(概ね1ヶ月に1～2回程度で随時更新)



【戦争体験者  
や戦後の証言  
映像】日本語  
+多言語で公  
開中！  
R7年度より  
「沖縄戦学習動  
画」を追加！

資料館だより・年報

各種申請書  
ダウンロード

資料紹介  
(収蔵品・図書)

平和学習・平和発信

電子申請  
(団体見学申込等)

Q & A

リンク集

第32軍司令部壕

JAPANESE THIRTY SECOND ARMY HEADQUARTERS

The Peace Learning Archive in

「観覧料免除  
申請書」や貸  
出資料関連  
(一覧表・申  
請書等)はこ  
ちら！



# 沖縄戦学習動画「礎が紡ぐ沖縄戦の記憶」

## セキュリティ対策済

# 沖縄戦の 平和学習の為の 学習サイト

動画や資料が充実!

無料



礎が紡ぐ沖縄戦の記憶 | 沖縄県平和祈念資料館

## Content コンテンツ

沖縄の成り立ちをたどりながら、沖縄戦がどのように始まり、何が起きたのかを動画や資料にまとめ、学習サイトに掲載しています。

無料の会員登録を行うだけで、閲覧することができますので、学校の授業やおうちでの学びにご活用ください。

小学生向け動画 (40分)



中学・高校生向け動画 (50分)



配布資料



学習シート

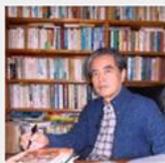


年表



証言マップ

## 出演者



監修：新城 俊昭  
沖縄大学客員教授  
沖縄史教育の普及や平和教育に関わる社会的活動で知られる新城教授に、本事業の監修を依頼しました。



進行：富田 めぐみ  
アーティスト、司会者  
多岐にわたるメディアで活躍する富田さんに、沖縄の豊かな文化と平和の重要性を伝えていただきます。



ゲスト：Rude-a  
ラッパー、声優、歌手  
全国区で活躍するRude-aさんに、彼の視点から平和の重要性を伝えていただきます。



メッセージ：HY 仲宗根 泉  
歌手、アーティスト  
地元文化を大切にしながら全国的な人気を博す仲宗根さんに平和へのメッセージをお願いしました。





各学校平和学習  
担当者宛に募集  
要項郵送済み！

**平和に関する 図画 作文 詩 を募集します**

**募集要項**  
 沖縄県内の小・中学校及び高等学校、高等専門学校、特別支援学校(学級)の児童・生徒

**作品のテーマ(例)**  
 ●平和、生命の尊さ ●戦争体験者から聞いた戦争の痛  
 ●平和を築き上げていくことの大切さ ●世界の人々の平和への理解と協力  
 ●戦争の悲惨さ・愚かさ ●平和に関わる人権、前線、貧困など

**審査**  
 ●図画・作文・詩とも小学校低学年の部、小学校高学年の部、中学校の部、高等学校の部、特別支援の部(学校及び学級)に分けて審査し、以下の賞を選定する。  
 ●最優秀賞(各部門)1点 ●優秀賞(各部門)2点  
 ●優良賞(各部門)数点 ●佳作(各部門)10点程度  
 ※各賞に知事名による賞状を贈呈する。また、最優秀・優秀賞には副賞を贈呈する。

**作品の提出・送り先**  
 〒901-0333 糸満市字摩文仁614番地の1  
 沖縄県平和祈念資料館「児童・生徒の平和メッセージ」担当宛  
 電話:098-997-3844 FAX:098-997-3947  
 http://www.peace-museum.okinawa.jp/

**募集期間**  
**4月30日(木)~5月15日(金)**  
 受付時間:9:00~17:00(土・日・祝日も受付可)  
 ※5月15日(金)17:00必着(沖縄県平和祈念資料館へのお送り先宛)

**主催: 沖縄県(主管: 沖縄県平和祈念資料館) 共催: 沖縄県教育委員会**

**第36回 令和8(2026)年度 児童・生徒の平和メッセージ**

**〔図画・作文・詩〕作品募集要項**

**1. 趣旨**  
 本県は去る大戦において、一般住民を巻き込んだ地上戦となり、20万余の尊い生命とかけがえない文化遺産を失った。戦後81年目を迎え、この歴史的事実を風化させることなく次の世代に正しく継承していくために、児童・生徒が平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会をつくる。また、応募作品の中から、優秀な作品を選定し、展示、広報することで、県民をはじめ広く国内外の人々の心に沖縄県児童・生徒の平和メッセージを届ける機会とする。

**2. 作品のテーマ(例)**  
 ○平和、生命の尊さ ○戦争体験者から聞いた戦争の痛  
 ○平和を築き上げていくことの大切さ ○世界の人々の平和への理解と協力  
 ○戦争の悲惨さ・愚かさ ○平和に関わる人権、前線、貧困など

**3. 実施機関**  
 ○主催: 沖縄県(主管: 沖縄県平和祈念資料館) ○共催: 沖縄県教育委員会

**4. 募集対象**  
 沖縄県内の小・中学校及び高等学校、高等専門学校、特別支援学校(学級)の児童・生徒

**5. 応募方法**  
 (1) 作品は、すべて所属学校を通して応募する。  
 (2) 図画・作文・詩の応募作品は自作の未発表作品に限り、各部門につき一人一点とする。  
 (3) 作品A1を利用して作成した作品は応募できない。  
 (4) 提出しただけのもの  
 (5) 作品提出票②(応募ラベル)図画: 裏面左上に貼付、作文・詩: 原稿用紙右上にホッチキスで綴じる。応募ラベルの記入にあたっては、**濃くはっきりと書く。**  
 ※作品提出票・応募ラベル・作品応募規定チェック表は各学校に送付しています。  
 沖縄県平和祈念資料館のホームページからダウンロードできます。  
 (6) 作品(作文・詩)は理由を問わず返却しません。控えのコピーを取りのうえご応募ください。

**6. 作品応募規定**  
 以下の規定から外れる作品は、審査対象から除外されるのでご注意ください。

**<図画部門>**  
 ○市販の画用紙(四つ切り、38cm×54cm)を使用する。  
 ○文字のメッセージは入れない。  
 ○保管や運搬などで破損しがちなもの(スパンコール、砂、教範など切り絵など)及び立体作品は不可とする。  
 ○作品は折り曲げない。

**<作文部門>**  
 ○小学校1、2年生は原稿用紙2枚程度、小学校3、4年生は3枚程度、小学校5、6年生は4枚程度、中学生及び高校生は4~5枚程度とする。  
 ※特別支援学校・学級については、学年を問わず枚数を指定しない。

**<詩部門>**  
 ○枚数は指定しない。

**<作文・詩部門共通>**  
 ○原稿用紙の場合: 市販の原稿用紙(コピー用紙不可)B4タテ20×20を使用する。  
 ※小学校1、2年生は20×20字詰め原稿用紙も可とする。  
 ※パソコンの場合: Wordの原稿用紙設定にて、A4横向き、タテ20×20でプリントアウトする。  
 ○原稿用紙の1行目に題名、2行目に学校名と学年、3行目に氏名を書き、4行目から本文とする。  
 ※特別支援学校・学級については、障がいの程度に応じて代筆も可とする。

**7. 募集期間**  
 令和8年4月30日(木)~5月15日(金) [受付時間 9:00~17:00]  
 【×切り: 5月15日(金) 17:00必着】

**8. 作品の提出・送り先** 郵送または直接持ち込み(土・日・祝日 受付可)  
 〒901-0333 糸満市字摩文仁614番地の1  
 沖縄県平和祈念資料館「児童・生徒の平和メッセージ」担当宛  
 電話: 098-997-3844 FAX: 098-997-3947

**9. 審査**  
 ○図画・作文・詩とも小学校低学年の部、小学校高学年の部、中学校の部、高等学校の部、特別支援の部(学校及び学級)に分けて審査し、以下の賞を選定する。  
 ●最優秀賞(各部門)1点 ●優秀賞(各部門)2点  
 ●優良賞(各部門)数点 ●佳作(各部門)10点程度  
 ※各賞に知事名による賞状を贈呈する。また、最優秀・優秀賞には副賞を贈呈する。

**10. 入選発表**  
 ○入選者は、沖縄県平和祈念資料館のホームページで発表する。(6月中旬予定)

**11. 展示会及び表彰式**  
 (1) 展示会は令和8年6月23日(火)より、沖縄県平和祈念資料館及び県内4カ所(石垣市、宮古島市、名護市、那覇市)で開催し、図画・作文・詩の最優秀賞、優秀賞の作品を展示する。(優秀賞の図画はファイリング等で閲覧できる。優良賞以上の作文・詩は製本し閲覧できる。)  
 (2) 表彰式は夏休み期間中に当館で開催する「児童・生徒の平和メッセージ展」と併せて行う。表彰式の参加者は最優秀賞、優秀賞を受賞した児童・生徒とする。(7月初旬に対象者へ通知)

① 糸 満 市(沖縄県平和祈念資料館)	6月23日(火) ~ 7月2日(木) 10日間 8月18日(火) ~ 8月31日(月) 14日間
② 石 垣 市(八重山平和祈念館)	7月8日(水) ~ 7月18日(土) 11日間
③ 宮古島市(宮古島市未来創造センター)	7月25日(土) ~ 8月5日(水) 12日間
④ 名 護 市(名護市立中央図書館)	9月4日(金) ~ 9月13日(日) 10日間
⑤ 那 覇 市(沖縄県立図書館)	9月30日(水) ~ 10月12日(月) 13日間

※展示開催曜日予定

**12. 作品返却**  
 (1) 作品(図画)は、全展示会及び表彰式終了後に返却する。  
 (2) 作品(図画)の返却に郵送を希望する場合は、応募の際に、ゆうパック等の「着払い」伝票に必要事項を記入の上、作品と併せて提出する。  
 ※入選者の作品と賞状が同封できないレターパック、切手付き封筒は不可。

**13. その他**  
 (1) 詩の最優秀作品のうち1点を、令和8年6月23日(火)の沖縄全県没者追悼式において、「平和の詩」として推薦し、作者が朗読を行うものとする。(図画・作文の最優秀作品については、各1点を式典資料にて紹介予定)  
 (2) 入選作品の著作権(法27条と28条を含む)はすべて主催者に帰属するものとする。  
 (3) 入選作品は、県内外学校及び市町村等に貸出資料として活用される。  
 (4) 入選作品決定後も、他の作品とあきらかに類似した作品であると主催者が認定した場合は、入選を取り消す場合がある。

**(過去の応募総数)**

年度	部門	図 画	作 文	詩	総 計
第33回 令和5(2023)年度		1,032	2,78	933	2,243
第34回 令和6(2024)年度		1,032	2,21	888	2,141
第35回 令和7(2025)年度		746	293	937	1,976

沖縄戦の真相にふれるたびに

戦争というものは

これほど残酷で、これほど汚辱にまみれたものはないと田中さんがいいます

この「なまなまし」体験の形では  
いかなる人でも

戦争を肯定し美化することは  
できないはずだ

戦争をおこすのは たしかに 人間です

しかし それ以上に

戦争を許さない奴力のできるのも  
私たち 人間 ではないでしょうか

戦後このかた 私たちは

あらゆる戦争を増み

平和な自国を建設せよと 田中さんがいってました

これが

あまりにも大きすぎるた代償を払って得た

ゆするこのではない

私たちの信条なのです

(沖縄県平和祈念資料館展示むすびの言葉)